

宝の持ち腐れからの『脱却』 ～ノーリフティングケアを当たり前～



社会福祉法人 多聞福社会
特別養護老人ホーム 彌栄苑

彌栄苑 (いやさかえん) 概要

種別：特別養護老人ホーム（従来型）

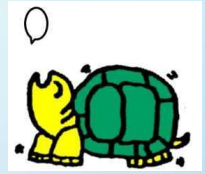
定員：長期50名・短期6名

介護職員：22名

男女比：男性7名・女性15名（内 外国人労働者4名）

平均年齢：35.8歳 ※令和7年12月15日時点

平均要介護度：4.06 ※令和7年12月15日時点



※当施設トレードマークの亀

取り組み背景

①平成30年頃 浴室・脱衣所への天井走行リフト及び床走行リフト導入したが・・・
・リフト導入を進める上で担当（現場をリードする）職員が決められていなかった
・操作方法の周知ができておらず、技術不足による皮膚トラブルが生じていた
➡結果的に「抱え上げた方が早いよね・・・」といった従来の介護へ
導入したリフトが活用されなくなってしまった（宝の持ち腐れ状態）

②慢性的な疾病も含め、腰痛含む身体の不調を訴える職員が増えた



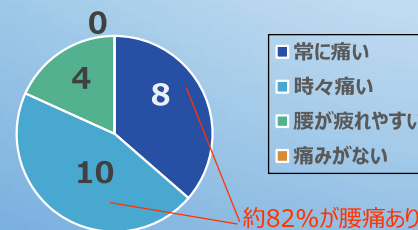
取り組み開始時の状況把握

<福祉用具状況 R7.6 >

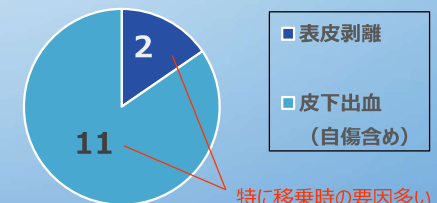
- ・電動ベッド：56台
- ・車椅子
（標準型：34台・モジュール型：19台・リクライニング：7台・ティルト型：1台）
- ・スライディングシート：1枚
- ・スライディングボード：2枚
- ・グローブ：1組
- ・床走行リフト：1台
- ・天井走行リフト（浴室・脱衣所）：各1台

取り組み開始時
福祉用具環境は比較的整っている
しかし、腰痛者(時々痛い含む)約82%
と多く、皮膚トラブルも多いことを改めて
職員と認識することからスタートした！

腰痛調査 (R7.6)



皮膚トラブル件数 (R7.6)



ノーリフティングケア導入時の職員の声

- ・電動ベッドだが、オムツ交換時のベッド昇降は**時間がかかる**
 - ・ベッド⇄車椅子移乗は、**抱え上げた方が早い**
 - ・ボードやリフトの**手順が難しい**、失敗したら**こわい**
 - ・**人手不足**の中、継続できるのか
- ➡導入に関して、過去にリフト等導入したが失敗した歴史もあり強いて言えばネガティブな声が多かった・・・



※Generated by ChatGPT

<過去の反省を活かして・・・>

ノーリフティングケアを始めるにあたって以下の**4点**を重視

① **詰め込まない**

➡時間をかけて徐々に定着するイメージで

② **焦らない**

➡計画通りにいかなくても大丈夫という心構え

③ **無理しない**

➡バーンアウトしないよう注意

④ **時間外の指導等はしない**

➡ノーリフティングケアに対してマイナスの印象を与えないように



※Generated by ChatGPT

床走行リフト導入に対するアプローチ

- <対象者> 男性利用者T様（右片麻痺、体重約65kg）
- <移乗方法> **抱え上げ**による移乗（健側側の足で若干立位可能）
- <リスク抽出> T様の移乗に対する負担の声が多かった（特に女性職員）
- <対策> **床走行リフトによる移乗**を検討



<利用者様に対して>

- ・利用者T様と総括職員によるリフト移乗について**話し合い**、まずは実際に**体験**して頂く
- ➡恐怖感の声はなく、「こっちの方が良い」との感想聞かれる

<職員に対して>

- ・床走行リフトの紹介・説明（どういった機能・役割があるのか）
- ・操作方法をiPad内動画視聴での周知
- ・個別指導での体験・操作手順の周知
- ・居室に手順書（マニュアル）掲示
- ・リフト本体への注意点（テプラシール）貼付し周知



床走行リフトへの評価

<職員の声>

- ・慢性的な身体の痛みがある職員でも、リフト移乗ならできる
 - ・リフト移乗の方が身体の痛みが**なく楽**
 - ・まだ慣れていないが、時間をかけながら移乗できている
 - ・（古い）床走行リフトで本体自体が重く感じる
- ➡現状トラブルなくリフト活用できている、新しい床走行リフトの検討中

<利用者様の声>

- ・導入初めは好印象であったが、元々職員に対する好き嫌いがあり、時折リフトに対して嫌悪感がみられるようになってきた・・・
- ➡担当職員より、**利用者様に介助する側の気持ちになってもらおう**と、職員が吊られたリフトを利用者様に操作して頂き、**リフトの良さを再認識**して頂けるようアプローチを実施し、リフト移乗を継続中



利用者様にも
操作して頂く

技術面の指導について

<勤務時間内での指導場面>

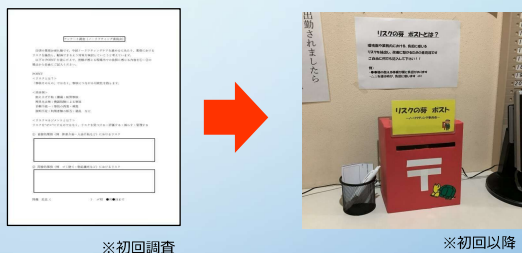
- ・ミーティング後、出勤職員への説明・指導・助言
- ・離床・臥床時等の1～2名職員に対する個別指導・フォロー
- ➡スライディングボード項目については、約1ヵ月以内で全職員へ周知できたと実感
- ➡時間はかかるが、ネガティブな印象を与えず、じっくり定着するようアプローチ可能
- ・iPad内での技術動画視聴による復習作業
- ・該当居室への手順書（注意点）の掲示



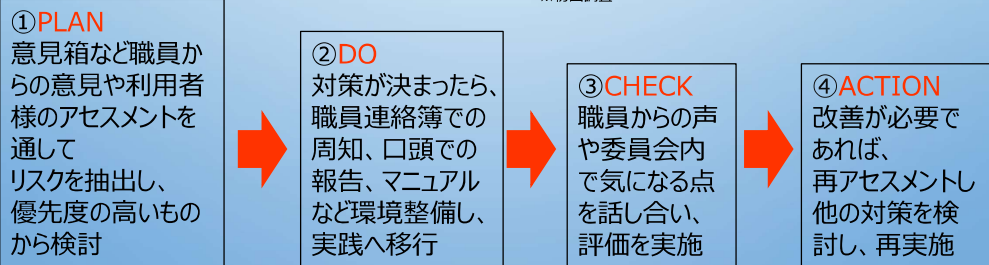
リスク抽出方法と解決手順 (PDCA)

<抽出方法>

初回は1人1枚アンケート調査を実施し、職員に対してリスクとは何か？業務内ではこの場面では？ということを一ひとりに考えてもらうよう投げかける
初回以降は、職員通用口に意見箱（リスクの芽ポスト）を設置し、気軽にリスクを洗い出せるよう環境整備



<解決手順>



ノーリフティングケア導入後の職員の声

- ・電動ベッド昇降し、**身体の痛みを軽減**するよう工夫している
- ・介助の合間に**ストレッチ**を挟んでいる
- ・リフト移乗が**楽**です
- ・スライディングボード操作が難しいが、慣れたらこっちの方が**楽**
- ・リフト移乗時間に**時間がかかってしまう**
- ・抱え上げた方が**早い**
- ・リフト移乗で利用者様の**残存能力を奪っている**のでは？

➡少しずつではあるが、ノーリフティングケアに対してポジティブな印象が見受けられる反面、導入することでの新しい視点での声（身体機能面での疑問）や従来の意識が根強く、ノーリフティングケアへの意識の定着がまだまだと感ずることもある

これまで実践した導入場面

<Before>

2階洗濯室から1階乾燥室までに運ぶ濡れた衣類が重くて負担



<After>

台車を活用し、負担を軽減



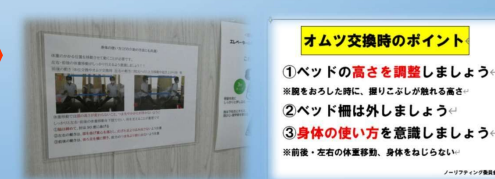
<Before>

オムツ交換時スピード重視で不良姿勢で実践することが多い
(例 ベッド柵そのまま・ベッド低い状態)



<After>

該当居室への張り紙による注意喚起（身体の使い方含め）



今後の課題

- ① **福祉用具の購入**
➡車椅子含め、足りない福祉用具の選定及びデモ・購入
- ② **技術面のフォロー**
➡定期的な技術指導、我流にならないようフォロー
- ③ **継続的なPDCAサイクル**
➡リスク改善に向けて引き続き、取り組んでいく
- ④ **意識改革・定着**
➡スピード重視から双方の安全・安楽重視へ

